

保育士養成における 場面記録の活用について

保育士養成課程では、各実習後に実習事後指導を行う。しかし、その具体的内容は、厚生労働省や、保育士養成校協議会等で定められておらず、養成校に委ねられている。

事後指導の取り組みの一つとして、「場面記録」を活用してきた。場面記録には、各学生が実習中に遭遇した誰かに相談したい場面を取り上げ、詳細に記録する。記録や記録後の検討を通し、子ども理解の新たな視点や関わり方を探るきっかけとなっている。また、教員が学生の場面記録を読み取ることで、学生がどのような場面で困難を感じる傾向にあるのかを把握することもできる。今回、これまで取り組んできた場面記録の活用及び記録の検討結果について報告する。保育士養成に限らず、他の専門職養成ではどのような取り組みをされているか等の意見をいただきながら、今後の実習事後指導方法の検討につなげたい。

講師 上原 真幸氏（熊本学園大学社会福祉学部 講師）

日時 2021年7月5日（月）18：00～19：30

定員 50名 ※参加無料

締切 2021年7月1日（木）※要事前申し込み

申し込み方法

ご氏名・ご所属・電話番号・メールアドレスを明記のうえ、
shafuku@kumagaku.ac.jpまでメールにてお申込みください。

- ※ お申込みいただいた個人情報は、当研究会の運営管理の目的にのみ使用させていただきます。
- ※ ネット配信サービス「Zoom」にてライブ配信いたします。事前のアプリインストール（無料）をお願いいたします。
- ※ 「Zoom」の使用方法・操作方法などのテクニカルサポートは行いませんので、ご自身でご確認ください。
- ※ 当日の資料および参加用URLは、開催前日までにメールにてご連絡いたします。
- ※ 状況により、中止となる可能性がありますことをご了承ください。

<申込み・問い合わせ先>

熊本学園大学付属社会福祉研究所（担当：学術文化課）

月～金 8：45～17：15
（12：30～13：30を除く）

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1
電話：096-364-8731（直通）
FAX：096-364-5201（専用）
Email：shafuku@kumagaku.ac.jp